

■平成 30 年 1 月

平成 30 年 1 月 1 日～31 日の間、6 名の有識者等と面談しました。主な面会先及び内容等は、以下のとおりです。

(1) スミソニアン協会美術館日本美術部門統括との面談 (8 日)

基地問題を含め沖縄への理解を高めてもらうために、沖縄の伝統工芸、美術等についてはどのように認知度向上を図るべきかについて意見を聞くためスミソニアン協会美術館日本美術部門統括を訪問しました。

■平成 29 年 12 月

平成 29 年 12 月 1 日～31 日の間、1 名の有識者等と面談しました。

■平成 29 年 11 月

平成 29 年 11 月 1 日～30 日の間、2 名の有識者等と面談しました。主な面会先及び内容等は、以下のとおりです。

(1) 国立自然史博物館職員との面談(20 日)

国立自然史博物館職員を訪問しました。自然史博物館については同館以外にメリーランド州に博物館支援センター (MSC) があるとのこと。沖縄関連のコレクションもあり、機会があれば沖縄県の専門家等にも立ち寄って欲しいとのことでした。

(2) 沖縄空手セミナー開会式への出席(18 日)

バージニア州で行われた沖縄空手セミナーに出席しました。セミナーでは、沖縄から派遣された先生の指導を受けるために、米国東海岸を中心に約 150 名の空手愛好家が集まり、流派を越えた練習や交流が行われ、参加者から感謝の声が寄せられました。

(3) 沖縄空手国際大会キャラバン一行来所(17 日)

来年 8 月の第 1 回沖縄空手国際大会を周知するためワシントン DC を訪れた沖縄空手国際大会キャラバン隊一行が来所しました。

■平成 29 年 10 月

平成 29 年 10 月 1 日～31 日の間、以下のとおり県人会関係者を訪問しました。

(1)「世界のウチナーンチュの日」昼食会への参加(29 日)

昨年の第 6 回世界のウチナーンチュ大会で、10 月 30 日を「世界のウチナーンチュの日」として制定したのを受け、ワシントン D.C. 沖縄会では、この日をお祝いするために域内の 5 カ所で昼食会を行い、ワシントン駐在は、メリーランド州及びワシントン DC 地域の昼食会に参加しました。